

響

ひびき

真宗大谷派 道誠寺報

特別号 No.9

2009年1月6日発行



住職からの挨拶

行事のお知らせと報告

副住職の一言



宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを
求めて

住職からの挨拶

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。

私たちには、頭で思い描いていることを、現実になると出来ないことがよくあります。年末にはその一年を振り返り、色々と反省を致します。

そして、新しい目標をもつて新年を迎えるのですが、なかなか自分の思い通りにはなりません。

そういう「私」を親鸞

聖人は「煩惱具足の凡

夫ぶ」とおっしゃいました。

自分の都合の良いことは好きで、都合の悪いことは嫌いという心。他人はどうでもよい、自分さえ

よければよい、という心を持つ私たちは、その心により苦しみ生きている

ことに気付かせて頂かねばなりません。それは、

念仏の教えにより照ら

されてあらわ顕れてくるので

す。どうぞ今年もご一緒に念仏申させて頂きたくお願い申し上げます。
(釋慈敬しゃくじきやう)

行事のお知らせ

1月

○8日(木) 2時〜

にもくかい
・二木会

今年から新たに、「門徒の集い」として、「二木会」を結成しました。どうぞお気軽に御参加下さい。

○22日(木) 4時〜

・書道教室

7時〜

・同朋会

今年から、書道教室

と同朋会は同じ日(木

曜日)に開催されます。

書道道具は揃っています

ので、手ぶらでお気軽

に御来寺下さい。

2月

○8日(日) 2時〜

・日曜法話会

講師 龍山了裕師

千葉組 法音寺御住職

電車を御利用の方

は、市川大野駅まで

車で送迎致しますの

で、お寺に電話御願

い致します。

TEL 047-337-5305

行事の報告

12月

○28日(日) 2時～

報恩講

ほうおんこう

平成二十年度の報恩講には、愛知県名古屋市にある道誠寺御住職、市野誠順師を講師としてお迎えし、「今、ここ」をテーマに法話し

て下さいました。

報恩講懇志

名古屋教区第1組道

誠寺、名古屋教区第23

組念佛寺、

※ホームページでは

公表しません。

有難うございました。

参加者

※ホームページでは

公表しません。

十七名参加

出仕者

恵光寺住職

若住職

専念寺住職

若住職

法音寺住職

浄真寺住職

道誠寺住職

住職

若住職

1月

○4日(日) 11時〜

しゅしょうえ
修正会

今年初めての道誠寺の
行事として、修正会を行
いました。御参加して下
さいました御門徒の皆様
方とお勤めをしました。
また良い年になるよう
献杯しました。

参加者

※ホームページでは

公表しません。

十名参加

修正会懇志

※ホームページでは

公表しません。

有難うございました。

副住職の一言

もんぼう

『真宗の聞法』

「仏教」、「お寺」などの言葉
をイメージしますと、「暗い」、
「怖い」、「難しい」などの負のイメ
ージが強く、僕たちと「仏教」の
関わりが薄らいでいるように感
じられます。それらの負のイメ
ージにより、僕たちは無意識に
身構えてしまい、疎遠になってい
るのではないかと最近思うので

す。

本来「お寺」は「聞法する場、

聞法道場」です。真宗門徒の生

活といえは、「聞法」です。

宗祖親鸞聖人は、法然上人

をたずね、来る日も来る日も

「聞法」され、「聞法」が生活の

中心となっていました。

「聞法」とは、仏の教えを聞き

ていくことですが、頭で理解し

ていくことではありません。仏の

教えに「自分」を聞き聞いていく

ものではないかと思ひます。

「聞法」といいますと、仏の教

え」を「ただ聞くだけでなく、仏

の教え」に「聞いていくのではない

でしょうか。現代では、僕たち

と「仏教」の関わりをみますと、

お葬式や法事の場合限りの方が

多いと思われれます。「仏教」を生

活の片隅に追いやらず、「聞法」

し自分を照らして頂けたら幸

いです。

しやくこうせい
(釋光生)

編集後記

今回から、道誠寺報『響』

のスタイルを変えてみまし

た。編集に関して、御要望

や御意見ありましたら、お

気軽に御連絡宜しくお願い

致します。

編集発行人

〒272-0804

千葉県市川市南大野1-26-31

道誠寺

釋光生

URL <http://douzyouzi.com>